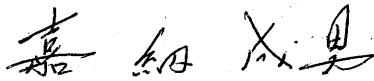


平成 27 年 11 月 19 日

横浜市長 林 文子 様

横浜州市庁舎移転新築工事技術提案等評価委員会

委員長 

横浜州市庁舎移転新築工事に関する
技術提案等の審査及び評価について (答申)

平成 27 年 10 月 16 日建施整第 767 号で諮問のありました横浜州市庁舎移転新築工事に関する技術提案等の審査及び評価については、別紙 1-1、別紙 1-2、別紙 2 のとおり答申します。

具体的評価項目		配点	Vグループ	Wグループ	Xグループ	Yグループ	Zグループ
I 耐震 技術提案	1(1)	4	3.2	1.2	1.6	2.8	1.6
	1(2)	5	4.0	1.8	3.2	2.8	3.2
	2	3	1.6	0.4	2.6	1.4	1.8
	3	3	1.2	2.2	2.4	0.2	1.4
	小計	15	10.0	5.6	9.8	7.2	8.0
II 環境 技術提案	1	3	2.0	0.8	1.6	0.6	1.2
	2	4	3.6	1.2	2.4	2.0	1.6
	3(1)	3	2.0	0.6	2.0	1.6	0.6
	3(2)	3	2.6	1.8	2.0	1.6	1.6
	小計	13	10.2	4.4	8.0	5.8	5.0
III 低層部の 技術提案	1	5	2.6	0.8	2.6	2.6	1.2
	2	5	3.8	0.8	3.8	2.6	1.4
	小計	10	6.4	1.6	6.4	5.2	2.6
IV 高層部の 技術提案	1	5	2.2	1.6	3.8	3.8	1.6
	2	5	1.8	2.2	3.0	1.8	1.2
	小計	10	4.0	3.8	6.8	5.6	2.8
V 施工計画、 設計・施工体制、 地域貢献	1	4	2.0	1.6	3.2	2.0	2.0
	2	4	2.4	1.6	2.0	1.2	2.0
	3	4	2.4	2.4	2.8	2.8	2.4
	小計	12	6.8	5.6	8.0	6.0	6.4
合計(I~V) 加算点		60	37.4	21.0	39.0	29.8	24.8

技術提案等の評価項目

評価項目		具体的評価項目	配点
技術提案	I 安全性の高い耐震性能の確保についての提案	1 地震時の安全性確保、地震後の業務継続に関する提案 (1) 在館者の安全確保、業務継続のための総合的な建築計画の考え方	4
		(2) 具体的な構造計画概要と構造耐力上の設計目標値 ア 各階における構造耐力上主要な部材の塑性化の程度 イ 執務室階の床面応答加速度の最大値 (gal) ウ 地上部各階の最大層間変形角の最大値 (rad)	5
		2 ライフサイクルを通して、建築物の性能を最適に管理するための構造計画等に関する提案	3
		3 建設予定地の地盤特性を考慮した構造計画に関する技術的所見 (1) 液状化が懸念される地層に対する基礎等の安全性確保 (2) 工学的基盤の傾斜に対する基礎等の安全性確保 (3) 長周期成分を考慮したサイト波の作成方針	3
	II 効果的で先進的な環境技術についての提案	1 エネルギーサービスプロバイダー（以下：ESP）導入検討に関する技術的所見 (1) ESP事業者選定に関する業務支援 (2) 横浜アイランドタワーとの連携を考慮した課題と対応 (3) 基本設計におけるライフサイクルコストや環境性能を考慮した熱源構成などの検討	3
		2 低炭素型の市庁舎と、快適な室環境の両立に関する提案	4
		3 創エネルギー、省エネルギー技術に関する提案 (1) 低炭素型市庁舎を考慮した創エネルギー技術と最大限性能を発揮するための技術及び省エネルギー技術	3
		(2) 創エネルギー・省エネルギー技術の導入による具体的な省エネルギー効果	3
	III 低層部分（1階から3階）における建築・構造・設備の高度技術と建築デザインに関する総合的な提案	1 低層部及び屋根付き広場（アトリウム）のフレキシブルで多様な使い方に対応する構造架構及び環境・設備に関する提案 (1) 大空間を形成する屋根付き広場（アトリウム）の構造架構及び外装計画 (2) 緑化を含む自然環境の取込みとビル風にも配慮した快適制御技術や音響・照明計画 (3) 外壁の防汚・日常清掃対策や維持管理計画とコスト低減	5
		2 横浜市の市庁舎にふさわしいデザインに関する提案 (1) 本市の基本構想などやデザインコンセプトブックを踏まえた低層部のデザイン計画 (2) 屋根付き広場（アトリウム）のフレキシブルで多様な使い方に見合った空間構成及びデザイン計画	5
	IV 高層部分における建築・構造・設備の要素と外観デザインの総合的な技術に関する提案	1 超高層建物の外壁構成要素に関する提案 (1) 日射負荷抑制や自然採光、自然換気の活用など環境技術を取り入れた外壁構成要素 (2) 防水性、気密性、水密性、耐久性、断熱性を考慮した外壁構成要素 (3) 外壁の防汚・清掃対策や維持管理計画とコスト低減	5
		2 外壁構成要素が融合した高層部デザインに関する提案 (1) 横浜市庁舎としての品位と美しさを兼ね備えた質の高い高層部デザイン (2) 中景として近接建物との関係及び遠景として北仲通北地区で予定されている超高層建築群を考慮した群景観計画に関する配慮	5
	V 設計・施工のプロセス、体制と地域経済・文化への貢献等についての提案	1 全体実施計画に関する技術的所見 (1) 基本理念及び整備基本方針を踏まえたプロジェクト遂行の為の目標設定と管理 (2) 設計・施工各段階の工程計画検討における課題及び遅延防止に向けた取組み (3) 別途発注となる工事の設計工程管理における配慮事項と工事発注及び施工管理支援	4
		2 設計・施工体制及び取組みに関する技術的所見 (1) 設計・施工各段階における課題と専門業者を含めた設計・施工体制の考え (2) 市民に永く親しまれる市庁舎とするための設計体制及び取組み (3) 施工段階における低炭素化に関する取組み	4
		3 地域貢献及び環境配慮に関する技術的所見 (1) 地域の文化的活動及び地域経済貢献に関する取組み (2) 現場周辺の環境保全や景観配慮に関する取組み (3) 設計・施工各段階における市庁舎プロジェクトの関心向上と建築文化の向上	4
			合計

横浜市市庁舎移転新築工事技術提案等評価委員会総評

横浜市は、新市庁舎の整備にあたり、市民に永く親しまれるとともに、危機管理の中心的役割を果たすための高い耐震性能や環境に配慮した市庁舎とするため、基本設計段階からの設計・施工一括発注方式を採用した。

事業者の選定にあたっては、高度技術提案(設計・施工一括)型総合評価落札方式を採用し、企業の独自技術やノウハウを幅広く取り入れられるなどのメリットを最大限生かした市庁舎とするため、耐震技術・環境技術などの高度な技術提案に加え、永く市民に親しまれる市庁舎を目指し、設計、施工、維持管理の各段階における課題への対応などの幅広い提案を求めた。

その結果、提出された技術提案は、いずれも本事業への熱意が感じられるものであり、応募者の技術力の高さが反映された質の高い内容となった。

特に耐震性能については、各提案者とも高い性能の免震・制振技術を導入し、危機管理の中核となる市庁舎にふさわしい安全性を高いレベルで実現する提案や確実に耐震性能を発揮する提案が多くあった。

環境技術についても、さまざまな環境技術や的確な材料・構法等との組合せにより、高い省エネ性能や低炭素化の実現に向けた、環境未来都市ヨコハマにふさわしい提案が多くみられた。また、設計においては市民に魅力ある広場の提供、施工においては工事期間中の近隣環境の保全など、応募事業者の設計・施工ノウハウを発揮した、幅広い分野に亘る有効な提案が多くあった。

技術提案は、いずれも新市庁舎の建設にふさわしい耐震、環境、設計、施工技術を備えており、評価委員会としては様々な観点からこれを評価し、委員全員が提出した評価点に基づいて、評価委員会の加算点とした。

今後は、本委員会の答申内容と、入札参加者が示した入札価格を総合的に評価して落札者が決定される。評価委員会では、災害に強く、環境性能等に優れた技術提案を高く評価する一方で、課題も指摘されている。設計にあたっては、永く横浜市民の財産として誇りに思える市庁舎の建設に向け、ライフサイクルコストの低減や景観形成などの諸課題についても、横浜市と落札者が協力して取り組むことを期待する。

平成27年11月

横浜市市庁舎移転新築工事技術提案等評価委員会

委員長 嘉納 成男